

第 20 回日本感性工学会春季大会 ナイトセッション

法人の感性① 「改めて〈場〉の理論」

3月5日(水) 18:00~18:30 E会場
安藤裕(宮城大学)・大谷毅(ASA)

概要

「法人の感性」では、自然人がもつ感性が、財と自然人の集合である法人、特に事業法人(主に会社)にも備わっており、会社の存続や自然人の生存に大きな影響を及ぼすという問題意識のもと、感性工学でどのように扱うべきかという課題を提起し、意見交換を行います。

本セッションでは、法人の感性に関わる理論の一つとして、クルト・レビンの場の理論を取り上げます。場の理論は、個人や組織の行動が環境と相互作用するダイナミクスを説明するものであり、その主要な概念をレビューしながら、感性工学にどのように応用できるかを議論します。特に、環境的要因が感性に与える影響に着目し、法人の意思決定、法人の感性デザインにおいてどのように考慮すべきかについて示唆を得ることを目的とします。